

屋根の
プロ

屋根の事は **屋根のプロ** にお任せ下さい！

リフォーム内容

- 屋根工事
- 外壁工事
- 塗装・防水工事
- 浴室・水廻り工事
- 室内リフォーム
- 外構・エクステリア工事
- 増改築工事
- マンション大規模修繕
アパート改修工事
- 設備機器工事
- 窓・サッシ・玄関工事
- バリアフリー工事
- 耐震工事

有限会社 アイライクホーム

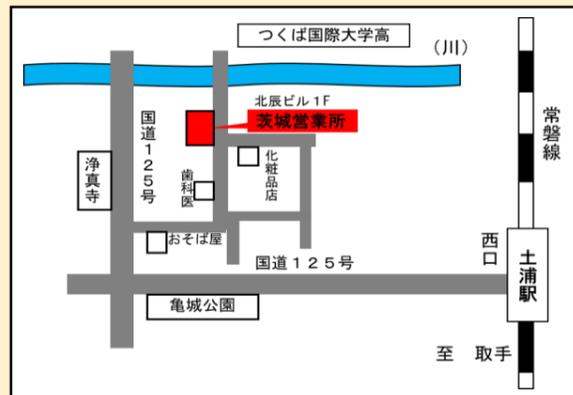
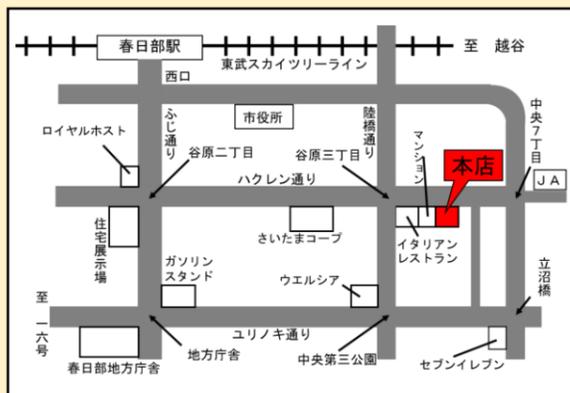
本店

〒344-0067 埼玉県春日部市中央8-2-5
TEL 048-734-8877 FAX 048-734-8898
<http://ilikehome-co.com>



茨城営業所

〒300-0042 茨城県土浦市城北町16-18北辰ビル1階
TEL 029-835-3051 FAX 029-835-3052
<http://ilikehome-co.com/ibaraki/>



屋根の台風対策工法

日本屋根診断士協会認定屋根診断士が考案の工法



台風対策工法は、当社と日本屋根診断士協会の全面協力のもとに開発された工法で、強風の時に起きた屋根の被害を部位別に分析し、既存屋根の弱点や工法に対策を講じた新しい工法です。

今後巨大化する台風に備えて、屋根工事をする際に、より安心な台風対策工法で工事する事をお勧めします。

※台風対策工法は強風に対して、従来の工法をさらに強化した工法ですが、完全に台風被害を防げるものとは限りません。

昨今の気候変動は著しく、数年前の台風直撃による家屋被害は記憶に新しいところです。

強風で屋根材が飛ばされてしまうと、雨漏りが発生し、建物のダメージだけでなく、家財にも被害が及んでしまいます。

台風から大切な住まいを守るためのポイントは強風に強い**丈夫な屋根**にする事です。

台風に強い屋根対策とは

強風で住宅用の屋根において一番被害を受けやすい部分は、平部以上に負担のかかる**軒先、ケラバ、棟、谷部分**です。

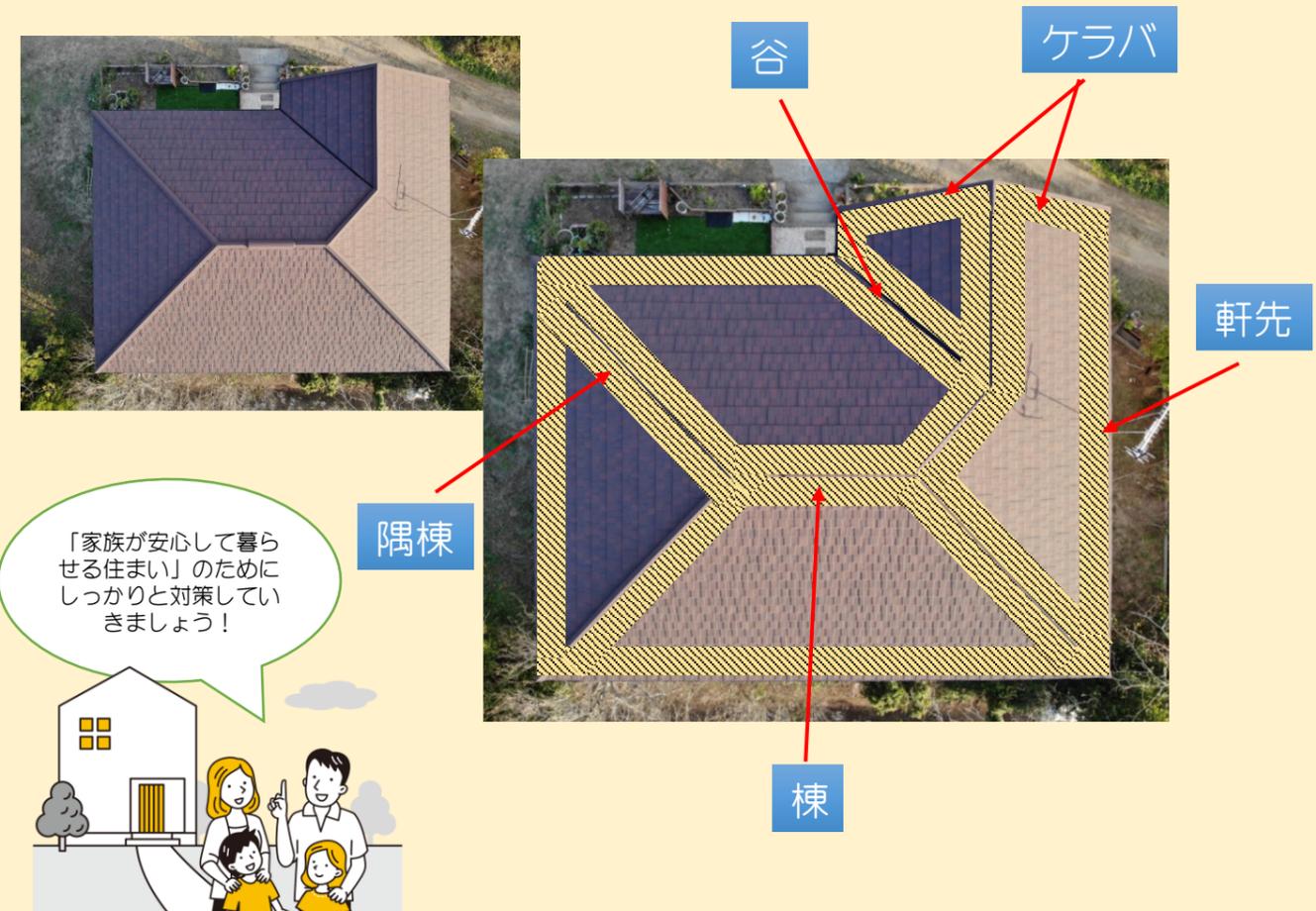
この事を考慮して、この部分を重点的に検証し、見落とされがちであった端部の施工を強化する事によって「ことさら強風に強い屋根」を構築していきます。



強風による屋根の一部のめくれや雨漏りといった被害は、**築年数が30年以上**の建物に多いようです。

屋根材によっては築年数10年を超えると、釘が緩んでいる、又は屋根材にクラックが発生してしまうなど、メンテナンスが必要になる事もあります。

瓦屋根の場合は、令和4年から法令が改正され、全ての瓦の緊結方法が強化されますので、既存の建造物においても点検する事が望ましいでしょう。



台風対策の具体的な工法

- 従来の工法で被害を受けやすい部分の固定方法を見直し、全数ビスにて固定。
- ビスの間隔を狭くして施工。（本体・ケラバ・棟部・谷部）
- 棟・ケラバ・谷・軒先部分に台風対策工法専用部材を使用。
- 専用の下地（ルーフィング）の台風対策工法にて施工。
- 施工保証15年（コーキング部以外）

自宅の屋根の危険度をチェックしてみましょう！

- 築年数が10年を超えている
- 建築後、一度も点検をした事がない
- スレート屋根で10年以上メンテナンスをしていない
- 粘土瓦またはセメント瓦である
- 瓦のズレやスレートの浮きが見られる
- コケや藻が発生している
- 金属屋根でサビが目立つ
- 天井に雨漏り跡が見られる
- 雨樋から水があふれてくる場合がある

いずれかにチェックが付いたら一度屋根診断を受けてみましょう。

屋根は地面から見て確認するには限界があります。大切な住まいを守るために、屋根のプロがしっかりと点検させていただきます。

